

ご存知ですか？難聴の種類。

難聴は、耳介から脳に至るどこかで障害が起こり、音が聞こえにくい状態をいいます。感音性難聴の最大の予防は「健康的な生活」です。

伝音性難聴

音がうまく伝わりにくくなっている状態です。外耳と中耳の障害で起きます。中耳炎や中耳炎後の場合が多く、耳鼻咽喉科で適切な治療や手術などで治る場合もあります。大きな声で話しかければ聞き取れることから、補聴器の効果は、かなり期待できます。

感音性難聴

音を感じとることができにくくなっている状態です。内耳と聴神経と脳の障害で起きます。音の精密度が悪くなっている為、微妙な音の違いを聞き分けられなくなっています。「音の明瞭度」が悪くなっているのです。また、「聞こえの幅」が狭くなっていることもあげられます。難聴なのに、大きい音がうるさく感じるのです。騒音下でのお喋りも難しく感じられます。「やや耳は遠くなったかもしれないが特別に不便はない！」と感じている方が大半です。聞き取り能力が落ちている事に自覚がありません。補聴器の効果は、トレーニング・リハビリが大切となります。

混合性難聴

伝音性難聴と感音性難聴の両方にまたがる難聴です。